

長野県特別生徒研究助成 実績報告書（個表）

学校名 飯田OIDE長姫高等学校

1 事業概要等

<p>実施期間</p>	<p>事業開始年月日 令和 5年 4月 1日 事業終了年月日 令和 6年 3月 31日</p>
<p>事業概要</p>	<p>(1) 地域連携活動事業</p> <p>ア 事業の目的 「地域ビジネスと環境」 NIE（新聞を活用した学習）の取り組み</p> <p>イ 事業の概要</p> <p>(a) 連携した団体等</p> <p>1, (株) 週休いつか 新海 進太郎 氏 2, 信濃毎日新聞社</p> <p>(b) 具体的な活動の内容 「統合創立10周年記念の軌跡」 ポスター製作</p> <p>10月、統合創立10周年記念式典を飯田市文化会館ホールで開催した。NIE 授業として、記念式典に向けて信毎データベース検索を活用し、ポスター製作に取り組んだ。ポスターは、統合前の1年間と今年を含めた合計12枚をグループごとに割り当て、それぞれの年度での掲載記事から、当時何があったのかをB0ノビ用紙にまとめさせる作業を通して、様々な技術を学習させるようにした。</p> <p>5月～6月の2ヶ月間を使用して初版を製作した。クラスで1名の編集長を選出。この生徒の統括の下、3人ずつ12グループに分かれ、各自が所持しているタブレットを使用して、信毎データベース検索で過去の掲載記事を集めさせた。その収集した膨大なデータから、新聞紙面の必要な部分をトリミング。編集長がクラウド上にあらかじめ作成しておいた台紙ファイルにデータを配置していく作業をした。完成したファイルは長尺プリンタで印刷して第1版が完成。文化祭で展示し、併せて来場者にはアンケートも実施した。アンケートには、「過去の先輩の頑張りがよくわかる」、「統合からの歴史がよくわかり面白い」という意見があった一方、「記事の配置を時系列に揃えたことにより、同じ部類の記事が、あちこちにとんでいて読みにくい」、「1年間の記事が多すぎて文字が小さくて読みにくい」、「1月から12月までの年ごとのまとめ方より、4月～3月までの年度ごとにまとめた方が良い」、「データ処理した文字の解像度が悪い」など多くの指摘を受けた。</p> <p>続いて8月～9月の授業ではこれらの反省を改善するために、地元企業の編集デザイナーに指導を依頼。3回にわたって一斉授業を実施し、プロの視点から様々なアドバイスを受けた。</p>

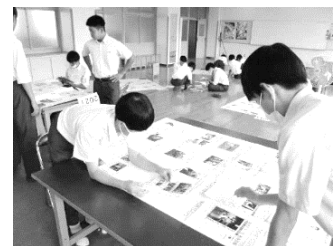


写真3 ポスター製作の様子

主なアドバイスとしては、「人の目に留まるようにするには、班ごと自由な視点で作成する」、「デジタル記事をデータとして加工して配置するより、記事ごと紙に印刷して台紙に直接貼り付けた方が、来場者は足を止めてくれる」、「1年間に掲載された記事で最も伝えたいことを大きく配置し、小さな記事はバッサリ削除することも大切」、「より伝えたい箇所にマーキングしたり、吹き出しやコメントを入れたりして、一目で記事の内容がわかるようにする」、「年間のまとめのコメントは2行ほどで簡潔に表記した方が読んでもらえる」など、広告として重要な技術を数多く教授して頂いた。この助言を参考にして、改めて各班で方向性を決め、改訂版ポスターの製作に取りかかった。完成したポスターは年度ごとに特徴を出すことに成功し、飽きのこない、見ごたえのあるポスターに仕上がった。

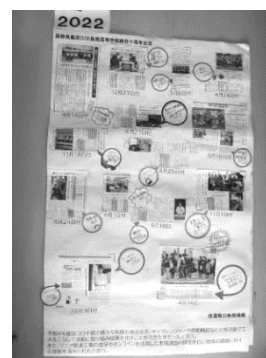


写真4 改良したポスター

式典当日、飯田文化会館ロビーにて、受付場所を中心にポスター12枚を“コの字”型に配置して展示。受付を済ませた多くの来場者はホールに入場する前、足を止めてポスターに見入っており、好評だった。



写真5 ロビーでの展示

式典では、全日制生徒・同窓生を含めて1,300人が集まり、ステージ発表では、生徒発表を主としたことで、オリジナリティが十分発揮され、大盛況で幕を閉じた。

ウ 事業の成果

生徒の感想は、「新聞記事を読み、まとめる中で、関心を持って見て頂ける、魅力あるポスター製作の技術を学ぶことができた」、「自分の高校でも初めて知る取り組みもあり面白かった」、「新聞でたくさん取り上げられてうれしい気持ちになった。自分も歴史に刻めるように、これから頑張っていかなければならないと強く思った」、「来場者の反応は思った以上にあり、やりがいを感じた」など、NIE授業を通して、内容の濃い授業展開となり、生徒の目に見える成果をあげることができた。また、総合技術高校の工業科としても、通常教えることができない専門技術を学ばせることができた。

※1 各事業において複数ある場合は列記すること。(別葉可)